

2017年『出版再販・流通白書』発行	1
出版-小売の再販契約書ひな型改訂	2
第33回梓会出版文化賞決定	2
IPAインド・ニューデリー大会のご案内	2

2017年『出版再販・流通白書』 発行

(一社)日本書籍出版協会(書協)、(一社)日本雑誌協会(雑協)、(一社)日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会の出版4団体で組織する出版流通改善協議会(相賀昌宏委員長)は、『2017年出版再販・流通白書No.20』(A4判・112頁)を12月15日に刊行する。当協議会では1998年以来、『出版流通白書 再販制度弾力運用レポート』を発行してきたが、2008年に公正取引委員会が開催した著作物再販協議会で、主な協議内容が流通改善に変化したため、この年から標記タイトルに変更した。

今年の巻頭には、業界を挙げて取組んださまざまな再販制度の弾力運用事例や、現在、雑協と日本出版取次協会では話し合われている輸送問題の現状について掲載した。また、文化通信社・星野渉氏による「アメリカの独立系書店はなぜ増えているのか」と題したレポートや、今年発足した「万引防止出版対策本部」についても掲載した。

発行部数は2,000部で、各団体会員、消費者、図書館等の関係団体、公正取引委員会、文部科学省、経済産業省など関係官庁および著作物再販協議会会員に配布する。また、別冊として『再販契約の手引き 第7版』を添付する。

本書の概要(予定)は、以下の通り。

1. 業界で取組む弾力運用

- (1) 雑誌の弾力運用「月刊誌“とって置き”キャンペーン」
- (2) 上野の森 親子フェスタ

- (3) 第一回京都読者謝恩ブックフェア
- (4) 出版社共同企画「謝恩価格本ネット販売フェア」
- (5) 神保町ブックフェスティバル

2. 輸送問題の現状

～出版物流の安定維持をめざして～

3. アメリカの独立系書店はなぜ増えているのか

4. 「万引防止出版対策本部」発足

5. 流通改善事例集

◎公取委「出版業界からの著作物再販ヒアリング」
議事概要(2/27)

- (1) 出版各社の取組事例(23例)
- (2) 取次各社の取組事例(7例)
- (3) 書店の取組事例と現状

- ①ご当地書店大賞
- ②全国に広がる書店人提唱の“大商談会”
- ③第6回九州選書市2017(大商談会)

6. 各団体の取組み(8団体)

7. 読書推進等の取組み

- ①文字・活字文化推進機構
- ②2017年 読書推進関係の主な行事
- ③トーハンが応援する「朝の読書運動」と家庭での読書「うちどく(家読)」
- ④日販 子どもの読書推進事業について

8. 資料編

①トーハン『平成29年度版 書店経営の実態』・百分比損益計算書、②日本出版販売『2017書店経営指標』・損益計算書、③日本の書店数は1万2526店(文化通信)、④全国の書店数と出版社数、⑤日販非在庫品の発注を停止へ アマゾンジャパン(文化通信)、⑥アマゾン同条件撤廃(文化通信)、⑦日本地図共販、自己破産を申請(文化通信)、⑧出版物再販問題略年表、◎再販売価格維持契約書・覚書(出版-取次・取次-小売・出版-小売)【以上】本書の刊行に伴い、出版流通改善協議会は12月15日(金)11時から、日本出版会館4階会議室にて書協・雑協加盟会員向けの説明会を開催する。なお、本書と「再販契約の手引き」は、1セット頒価1,000円(税・送料込み)で頒布する。
(詳細問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303)



出版-小売の再販契約書ひな型 37年ぶりに改定！

出版再販研究委員会（相賀昌宏委員長）は、昭和55年当時公表され、その後利用がないため更新されず取り下げられていた（出版一小売）の「再販売価格維持契約書・覚書ひな型」を改定した。

近年、出版社と小売との直接取引の実態が出てきたため、今回リニューアルが行われた。実に37年ぶりの改定となる。内容は従来（出版一取次）（取次一小売）に沿った内容となっており、その他、現状にあった文言の一部修正された。

あわせて、従来（出版一取次）（取次一小売）の再販売価格維持契約書・覚書の一部文言も同様に改定した。

ひな形は下記URLからダウンロード出来る。

◆出版社と取次会社との間の再販契約書

<http://jbpa.or.jp/pdf/publication/saihan1.pdf>

◆出版社と書店（小売）との間の再販契約書（※取次会社を通さず直接取引する場合）

<http://jbpa.or.jp/pdf/publication/saihan3.pdf>

第33回梓会出版文化賞 石風社に決定

優れた書籍を長年にわたり発行している出版社を顕彰する第33回「梓会出版文化賞」に石風社、「同 特別賞」に無明舎出版が決定した。また第14回「出版梓会新聞社学芸文化賞」に左右社が決定した。今年は60社から応募があり、数次に亘る選考会を経て上記3社の受賞となった。

梓会出版文化賞受賞の石風社は、著者の中村医師が国際NGO団体「ベシヤワール会」を母体に昔の豊かな農業国に戻すために日本の伝統的な灌漑技術で用水路を築きアフガニスタン復興のために挑んだ記録『アフガン・緑の大地計画』や2016年4月の熊本地震を地震直後から記録にまとめた『熊本地震 明日（あす）のための記録』などが高評価を得た。また、『あごら 雑誌が見つないだフェミニズム全3巻』など創業からの出版活動でも高い評価が寄せられ、今回の受賞となった。

なお、授賞式は1月18日（木）17時30分から日本出版クラブ会館において行なわれる。

（詳細問合せ 出版梓会 TEL 03-3292-2323）

IPA（国際出版連合） 第32回ニューデリー世界大会

2018年2月11日（日）から13日（火）に、国際出版連合（International Publishers Association=IPA）の第32回大会が、インド・ニューデリーで開催される。IPAは世界各国の出版協会の連合体であり、アジア、アフリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、アメリカの60カ国の70の組織により構成されている。IPAはメンバーを通じ、56億人以上の人々を含む市場にサービス・情報を提供し、世界中の数千の出版社を代表する。本部はスイスのジュネーブに置かれ、今日における国際社会での出版業界への様々な変革や脅威に対し、国際的規模での出版業界の利益保護活動を代表している。

第32回大会では、テーマを「『未来を創造する：経験に基づく改革』（Shaping the Future: Innovation Meets Experience）」と定め、世界中から出版人が参加し、著作権の保護、言論・出版・表現の自由の堅守、自由な出版流通の確保等、IPAの大方針に関わる議題を中心に近年の出版環境の変化、技術革新、流通の変化などについての議論を深める。

■大会期間：2018年2月11日（日）～13日（火）

■大会会場：Hotel Taj Diplomatic Enclave

■参加登録費用：\$ 1,200（同伴者 \$ 1,000）

※旅行費用に含まれない

■IPA大会概要：

1日目（2/11） 開会式、基調講演、出版における知的財産の未来を創造する、著作権

2日目（2/12） 出版における自己検閲の脅威、受賞・選定の効用とは？、集团的権利処理、出版社の社会的責任、インド書籍市場

3日目（2/13） オンライン上の文学、途上国における現地教育出版の強化、STM出版、将来の読者を創造する、グローバル化の問題と新しい機会、閉会式

日本書籍出版協会では、本大会のツアーを企画し、申込みを受け付けている。ツアーの日程及び概要は以下の通り。なお、参加申込の締め切りは2017年12月13日（水）まで。

◆ツアー期間：2018年2月10日（土）～15日（木）

◆ツアー費用：¥328,000

◆ツアー詳細・お申込み先：

<http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/IPA2018NewDelhi.pdf>

（問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303）

出 版 統 計

書 籍	10月期	前年同月比	1～10月期	前年同期比	書 籍 出 回 り	10月期	前年同期比	1～10月期	前年同期比
新 刊 点 数	6,831点	96.2	61,421点	97.5	推 定 出 回 部 数	7,152万冊	93.0	82,601万冊	95.1
新刊推定発行部数	2,802万冊	98.4	25,663万冊	98.2	推 定 出 回 金 額	803億円	93.6	9,542億円	96.5
新刊平均価格	1,122円	99.5	1,167円	100.6	推定出回平均価格	1,123円	100.6	1,155円	101.5
新刊推定発行金額	314億円	97.9	2,994億円	98.8	実 売 部 数	10月期	前年同期比	1～10月期	前年同期比
月 刊 誌	10月期	前年同月比	1～10月期	前年同期比	書 籍	4,027万冊	94.3	49,958万冊	95.7
発 行 銘 柄 数	2,178点	98.3	2,806点	97.4	月 刊 誌	6,596万冊	87.3	70,175万冊	88.4
推 定 発 行 部 数	12,081万冊	90.7	125,505万冊	92.3	週 刊 誌	3,229万冊	94.4	29,157万冊	89.2
平 均 価 格	631円	100.6	638円	101.4	実 売 金 額	10月期	前年同期比	1～10月期	前年同期比
推 定 発 行 金 額	762億円	91.2	8,004億円	93.5	書 籍	474億円	94.8	6,080億円	97.1
週 刊 誌	10月期	前年同月比	1～10月期	前年同期比	月 刊 誌	406億円	87.4	4,386億円	89.8
発 行 銘 柄 数	77点	106.9	86点	106.2	週 刊 誌	114億円	98.7	1,022億円	91.0
推 定 発 行 部 数	4,871万冊	91.3	46,254万冊	91.8	実 売 金 額 合 計	994億円	92.1	11,488億円	93.7
平 均 価 格	361円	104.3	362円	102.3					
推 定 発 行 金 額	176億円	95.1	1,673億円	93.7					

- 銘 柄 数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部 数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金 額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

1月9日12:00～ **新年名刺交換会**
(日本出版クラブ会館)

12月1日～2018年3月4日 **世界のブックデザイン2016-17**
(印刷博物館P&Pギャラリー・東京都文京区)

開館時間10:00～18:00

詳細：<http://www.printing-museum.org/exhibition/pp/171201/index.html>

書協入会のご案内

日本書籍出版協会では、新規会員・賛助会員を募集しています。現会員社さまより新規会員を紹介いただくと、ご紹介いただいた会員社への特典もございます。詳細のお問い合わせは以下まで。

書協・総務部 TEL 03-3268-1302 info@jbpa.or.jp

編集後記

最近SNSを通じて参加者を募ったり新しいタイプの読書会が広がっているそうです。かくいう私もそうした読書会に参加したことがあります。年代の違う人と本の話ができるのはいいものです。(あ)

先日、わたしが高校時代に下北沢のハンバーガー屋でアルバイトをしていた時の仲間たちと10数年ぶりに再会。なんと仲間の一人は本の装幀家に。お互い、本の装幀に絡んでいるのに、その日はなぜか装幀話を絶妙にかわしながら酒を交わしました。今度ゆっくり話そうぜ！(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL:03-3268-1301

FAX:03-3268-1196

Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>